

令和3年度 第2回 岩手県企業局経営評価委員会

令和3年11月16日（火） 13:30～15:00

次 第

- 1 開 会
- 2 あいさつ（佐藤企業局長）
- 3 議 事
 - (1) 令和3年度 上半期の取組状況について
 - (2) その他
- 4 閉 会

配布資料

- 資料1-1 令和3年度 上半期 取組状況の総括
- 資料1-2 令和3年度 経営評価総括表
- 参考資料1 令和3年度 取組内容一覧表

令和3年度 第2回 岩手県企業局経営評価委員会 出席者名簿

委員長	一関工業高等専門学校 副校長	あかし なるゆき 明石 尚之	
委員	岩手県立大学総合政策学部 准教授	いずみ けいこ 泉 桂子	
〃	いわて生活協同組合 常務理事	かねこ せいこ 金子 成子	
〃	早稲田大学水循環システム研究所 招聘研究員	なみかわ すずむ 濤川 進	
〃	盛岡ガス株式会社 常務取締役総務部長	まつかわ けん 松川 顕	
企業局	局長	きとう まなぶ 佐藤 学	
〃	次長兼経営総務室長	やえがし ひろふみ 八重樫 浩文	
〃	技師長	ふじわら きよと 藤原 清人	
〃 (経営総務室)	特命参事兼管理課長	すずき みつまさ 鈴木 光将	
〃	予算経理担当課長	ふるかわ あつし 古川 敦	
〃 (業務課)	総括課長	やまや のりひこ 山谷 紀彦	
〃	事業担当課長	こがわ けんいち 古川 健一	
〃	電気課長	たかはし ひろし 高橋 浩	欠席
〃	土木・施設担当課長	たや せいこ 田家 清子	
〃	発電所再開発推進課長	いしかわ ゆきひろ 石川 幸洋	
〃 (施設総合管理所)	施設総合管理所長	むらかみ としひろ 村上 敏弘	
〃 (県南施設管理所)	県南施設管理所長	すがわら かつひろ 菅原 克浩	
事務局	経営総務室 経営企画課長	いとう くにひこ 伊藤 邦彦	
〃	経営総務室 経営企画担当 主任主査	おぼら じょう 小原 穰	
〃	経営総務室 経営企画担当 技師	きくち こうすけ 菊地 弘祐	
〃	経営総務室 経営企画担当 主事	かつら まさゆき 桂 誠之	
〃	経営総務室 管理担当 特命課長	ほそかわ ひろもと 細川 普基	

(委員 50 音順 敬称略)

出席者数 21 名

令和3年度 第2回 岩手県企業局経営評価委員会 タイムスケジュール

令和3年11月16日(火) 13:30 ~ 15:00

内 容	予定時間	備考
1 開 会 2 挨 拶	13:30 ~ 13:40	
3 議 事 (1) 令和3年度上半期の取組状況について	13:40 ~ 14:45	資料1-1 ~ 資料1-2
(2) その他	14:45 ~ 14:55	
4 閉 会	14:55 ~ 15:00	

令和3年度 上半期 取組状況の総括

1 電気事業

※下線部は令和3年度第1回経営評価委員会(7/27)からの変更箇所

上半期においては、出水率が多かった2・3月分の貯水を活用したことなどにより水力発電が好調であったことから、供給電力量は計画値を上回りました。

また、7月1日に築川発電所の営業運転を開始するとともに、稲庭高原風力発電所の再開発工事を着実に進めるなど、再生可能エネルギーの維持拡大に向けた新規開発・再開発は、概ね計画どおり進捗しています。

指標一覧(上半期時点)

(1) 「運転年数100年」を実現するための基盤づくり		R3目標値	上半期(実績値/計画値)
経営目標	供給電力量(百万kWh)	536	355/333
	発電所建屋等の耐震化率(%)	100	90/90
	電力土木施設の耐震診断進捗率(%)	86	73/73
取組内容	進捗状況: 11項目中 a 11項目(100%) b なし c なし		
(2) 再生可能エネルギーの維持拡大		R3目標値	上半期(実績値/計画値)
経営目標	新規開発・再開発による供給電力量(千kWh)	7,757	1,850/2,956
取組内容	進捗状況: 6項目中 a 6項目(100%) b なし c なし		
(3) 経営環境の変化に対応した安定経営		R3目標値	上半期(実績値/計画値)
経営目標	経常収支比率(%)	124	※年度末に評価
取組内容	進捗状況: 6項目中 a 6項目(100%) b なし c なし		

注) 進捗状況の判定基準 a: 取組が完了できる見込み b: 取組の完了や目標とした成果の達成に向けて課題がある c: 取組完了が困難な見込み

【主な成果等】

(1) 「運転年数100年」を実現するための基盤づくり

安定供給の目安となる供給電力量の目標達成に向けて、計画的な施設の修繕・改良に取り組んでおり、予定している取組については、概ね計画どおり進捗しています。

(2) 再生可能エネルギーの維持拡大

築川発電所については、計画どおり、7月1日に営業運転を開始しましたが、第2四半期の出水率が67%と低かったため、上半期実績値は計画値を下回りました。

また、稲庭高原風力発電所の再開発については、6月に既設風車の撤去が完了し、令和3年度末の運転開始に向けて、現在新風車の基礎工事を進めています。

(3) 経営環境の変化に対応した安定経営

非FIT水力発電所の次期売電契約の締結に向け、電力自給率の向上、安定経営、地域貢献を基本方針とした公募型プロポーザルを実施し、契約候補者を選定しました。

【主な課題と今後の対応】

稲庭高原風力発電所の再開発については、令和3年度末の運転開始に向け、受注者間の調整を行い、適切に現地施工を進めていきます。胆沢第二・入畑発電所の再開発については、今年度中の固定価格買取制度認定に向けて取り組んでいきます。

また、非FIT水力発電所の次期売電契約について、適正な電力量収入の確保に向け、電力供給契約の締結を行います。

2 工業用水道事業

上半期においては、工事・委託とも概ね計画どおりに進捗しており、良質な工業用水の安定供給を継続しています。

指標一覧（上半期時点）

(1) 良質な工業用水の安定供給		R3目標値	上半期（実績値/計画値）
経営目標	供給停止件数(件/年)	0	0/0
取組内容	進捗状況：8項目中 a 8項目(100%) b なし c なし		
(2) 新たな水需要への対応			
取組内容	進捗状況：1項目中 a 1項目(100%) b なし c なし		※経営目標・参考指標設定なし
(3) 安定的な事業運営		R3目標値	上半期（実績値/計画値）
経営目標	経常収支比率(%)	107	※年度末に評価
取組内容	進捗状況：5項目中 a 5項目(100%) b なし c なし		

注) 進捗状況の判定基準 a: 取組が完了できる見込み b: 取組の完了や目標とした成果の達成に向けて課題がある c: 取組完了が困難な見込み

【主な成果等】

(1) 良質な工業用水の安定供給

新型コロナウイルス感染対策や職員が罹患した場合の管理体制について整理するなど、適切な保守管理の実施に努めており、安定供給を継続しています。

また、令和2年度に発生した老朽化に伴う漏水事故の本復旧工事に向けて工事発注準備を進めています。

(2) 新たな水需要への対応

新浄水場建設事業及び取水口建設事業を概ね計画通り進めています。

(3) 安定的な事業運営

ユーザー企業の水需要の動向を踏まえ、金ヶ崎ろ過施設のダウンサイジングによる経費の縮減に向けて、工事発注準備を進めています。

また、契約水量の維持・増量に向けた取組として、ユーザー訪問による使用水量の動向などについての情報交換や今後の需要量の調査を行っています。

【主な課題と今後の対応】

新たな水需要への対応について、令和5年4月からの一部給水開始に向けて、関係機関との調整を行いながら、整備を進めていきます。

また、新型コロナウイルス感染症の影響など、ユーザー企業の実使用水量の動向に注視していきます。

3 組織力向上と地域貢献

上半期においては、新型コロナウイルス感染症感染拡大防止に努めつつ、概ね計画どおり進捗しています。

指標一覧（上半期時点）

(1) 組織力向上		R3目標値	上半期（実績値）
経営目標 ※計画期間(R2~R5)累計	第二種電気主任技術者 新規資格取得者数（人）	3	4
	第一種ダム水路主任技術者 新規資格取得者数（人）	1	0
取組内容		進捗状況：11項目中 a 10項目(91%) b 1項目(9%) c なし	
(2) 地域貢献		R3目標値	上半期（実績値）
経営目標	地域貢献事業による温室効果ガス削減量(t以上/年)	120以上	※年度末に評価
取組内容		進捗状況：6項目中 a 6項目(100%) b なし c なし	

注）進捗状況の判定基準 a：取組が完了できる見込み b：取組の完了や目標とした成果の達成に向けて課題がある c：取組完了が困難な見込み

【主な成果等】

(1) 組織力の向上

第二種電気主任技術者の資格を1名が取得しました。

また、企業局のPR及びリクルート活動の一環として、県内の学校に企業局職員を講師として派遣し、業務説明を行いました。

毎年度開催している施設見学会や高校生及び大学生等を対象としたインターンシップ、発電所見学会等については、新型コロナウイルス感染症感染拡大防止の観点から、今年度は開催を見合わせることにしました。

令和2年12月から休止していた企業局施設カードの配布について、令和3年10月1日より配布を一部再開しました。

(2) 地域貢献

「いわて復興パワー」による電気料金の割引や企業局の水力発電所で発電したCO₂フリーの電力を供給する取組を継続しています。

また、温室効果ガスの削減目標の達成に向けて、クリーンエネルギー導入支援事業では、9件の交付決定を行ったほか、15件の植樹活動への支援を決定しました。

【主な課題と今後の対応】

(1) 第二種電気主任技術者や第一種ダム水路主任技術者の資格取得に向けて、局内の支援・奨励による取得者数の更なる確保・育成を目指します。

また、令和2年12月から休止している施設見学者の受入れについて、学校等の見学を除き、原則休止を継続していますが、新型コロナウイルス感染症の状況を注視し、再開時期を検討します。

(2) いわて復興パワーについては、次期売電契約候補者と協議・調整を行い、次年度以降の方針について検討します。

1 電気事業 ※下線部は令和3年度第1回経営評価委員会(7/27)からの変更箇所
(取組の方向性)(1)「運転年数100年」を実現するための基盤づくり

経営目標、参考指標の状況

経営目標		1/4	2/4	上半期	3/4	4/4	年間	達成度
供給電力量(百万 kWh)	計画	219	115	333	72	130	536	
	実績	235	120	355				
	達成率	108%	104%	106%				
発電所建屋等の耐震化率(%)	計画	90	90	90	90	100	100	
	実績	90	90	90				
電力土木施設の耐震診断進捗率(%)	計画	73	73	73	73	86	86	
	実績	73	73	73				

参考指標 (H22-30 平均)	参考値	1/4	2/4	上半期	3/4	4/4	年間
[参考]水力発電所の供給停止件数(件/年)	3	1	2	3			
[参考] 〃 の供給停止時間(時間/年)	68	2	4	5			
[参考] 〃 の供給停止電力量(百万 kWh/年)	0.055	0.005	0.038	0.042			

注) 達成度: 実績値 / 目標値 × 100 A: 100%以上、B: 80%以上 100%未満、C: 60%以上 80%未満、D: 60%未満 [年度末に判定]

【特記事項】

1) 供給電力量については、令和3年度上半期の水力、風力、太陽光合計の供給電力量は **355 百万 kWh**、達成率は **106%** と計画値を上回りました。

- ・水力発電については、上半期の出水率は81%と平年を下回ったものの、出水量の多かった2・3月分の貯水を活用したことなどにより、供給電力量の達成率は **103%** と計画値を上回りました。
- ・風力発電については、上半期の平均風速が **116%** と平年を上回ったことなどから、上半期供給電力量の達成率は **103%** と計画値を上回りました。
- ・太陽光発電については、上半期の平均日射量は **100%** となり、供給電力量の達成率は **116%** と計画値を上回りました。
- ・水力発電所の供給停止については、北ノ又第二発電所、築川発電所及び仙人発電所において **3件** 発生しました。

2) 発電所建屋等の耐震化については、御所及び仙人発電所建屋の耐震化を実施する予定としており、御所発電所では工事契約を締結し、現地施工を進めています。なお、仙人発電所については、共同事業者との協議により、令和4年度の完成予定となったため、今年度の耐震化率は **95%** にとどまる見込みです。

3) 電力土木施設の耐震診断については、岩洞第一発電所の 委託契約を締結し、診断業務を進めています。今年度末には **計画どおり 86%** となる見込みです。

取組内容の進捗状況

取組内容		進捗	成果	取組内容		進捗	成果
①	ア 年度別事業実施計画に基づく修繕・改良等の実施	a	△	③	ア 新技術の導入	a	△
	イ 電力土木施設等長寿命化対策	a	△		イ 発電所遠方監視制御装置のIP化	a	△
	ウ 耐震化計画の推進	a	△		④	ア 農業用水の安定供給に向けた機能維持	a
②	ア 適切な保守作業の実施	a	△	イ 河川管理者等との連携		a	△
	イ 風水害に備えた点検の重点化	a	△	ウ 発電所共同運転事業者との連携		a	△
	ウ マニュアル等の見直し	a	△				

注) 進捗状況 a: 取組が完了できる見込み b: 取組の完了や目標とした成果の達成に向けて課題がある c: 取組完了が困難な見込み

注) 成果状況 A: 目標とした成果を達成した B: (複数の取組目標を設定している場合) A判定のものとC判定のものが両方ある場合

C: 目標とした成果を達成できなかった [年度末に判定]

【特記事項】

① 施設の強靱化及び大規模災害への備え

1) 電力土木施設の長寿命化対策に関する検討会議(5/28、9/28)を開催し、**電力土木施設の点検周期、耐震化スケジュール等について協議**しました。

② 適切な保守管理

1) 年間スケジュールに基づき**工事等に伴う河川法手続き及び協議を実施**しています。

③ 新技術の導入

1) **IoT・AI技術の活用**については、柏台発電所、岩洞第一発電所及び四十四田発電所において、既存の集中監視制御システムでは遠隔監視していない信号の取得、アナログメータのデジタルデータ化、水車振動等の異音検知、自走式巡視ロボットなどIoT機器の実証試験を実施しました。また、技術担当課長会議の特定課題検討グループにおいて、故障対応の迅速化や巡視点検効率化といった**実証の効果について確認等を行います**。

2) **築川発電所の営業運転開始とともに、IP回線を活用した遠方監視制御システムを開始**しました。

④ 農業用水の安定供給、共同事業者との連携

1) **岩洞ダム共有施設の改良工事**（国営岩手山麓農業水利事業）について、岩手山麓農業水利事業所と工事の実施時期等について協議を行い、**事業の進捗状況等を確認**しました。

2) **胆沢第二発電所の農業用水に係る共有施設の改修工事**について、共同事業者である東北農政局及び県農林水産部と協議(5/13)し、**今後の進め方について確認**しました。また、改修工事に係る設計業務委託について、委託契約を締結し、検討を始めました。

主な課題と今後の対応

① 施設の強靱化及び大規模災害への備え

1) 施設の計画的な修繕・改良の実施に向け、**工事、委託等の発注管理、進捗管理**に努めます。

② 適切な保守管理

1) 河川法手続きについて、工事等のスケジュールに合わせて、**適宜手続きを進めます**。

③ 新技術導入

1) 電力の安定供給を目的として、**保守の効率化に関するIoT機器の実証試験**をメーカーの協力により実施し、新技術導入に向けた**効果の確認や課題の整理等**を行います。

④ 農業用水の安定供給、共同事業者との連携

1) **岩洞ダム共有施設の改良工事**については、東北農政局と、工事の進捗状況等について毎月協議・調整を行い、令和3年度分の**工事完了**を目指します。

2) **胆沢第二発電所の農業用水に係る共有設備の改修工事**については、設計業務委託の成果を基に事業費を精査し、東北農政局と**協議を進めます**。

- ・ 供給電力量電源別内訳
- ・ 気象データ
- ・ 供給停止件数の過去平均と原因別比較
- ・ 発電所建屋等の耐震化工事箇所数
- ・ 電力土木施設の耐震診断箇所数
- ・ 電力料収入
- ・ 収入、支出の状況 については補足説明資料のとおり

令和3年度 経営評価総括表 [上半期]

1 電気事業

(取組の方向性) (2)再生可能エネルギーの維持拡大

経営目標、参考指標の状況

経営目標		1/4	2/4	3/4	4/4	年間	達成度
新規開発・再開発による供給電力量 (千 kWh)	計画	0	2,956	2,495	2,306	7,757	
	実績	0	1,850				

注) 達成度: 実績値 / 目標値 × 100 A: 100%以上、B: 80%以上 100%未満、C: 60%以上 80%未満、D: 60%未満 [年度末に判定]

【特記事項】

- 1) **新規開発**については、7月1日に**築川発電所が営業運転を開始**しました。
・供給電力量については、第2四半期の出水率が**67%**と低かったため、上半期実績値は計画値を下回りました。
- 2) **再開発**については、稲庭高原風力発電所の営業運転開始(令和3年度末)に向け、**既設風車の撤去及び新風車の基礎工事**を進めています。

取組内容の進捗状況

取組内容	進捗	成果	取組内容	進捗	成果
① ア 築川発電所の建設	a		② ア 胆沢第二発電所の再開発(令和2～8年度) イ 入畑発電所の再開発(令和2～7年度) ウ 稲庭高原風力発電所(令和2～3年度) エ 再開発の検討	a	
イ 新規開発に向けた調査等	a			a	
				a	
				a	

注) 進捗状況 a: 取組が完了できる見込み b: 取組の完了や目標とした成果の達成に向けて課題がある c: 取組完了が困難な見込み
注) 成果状況 A: 目標とした成果を達成した B: (複数の取組目標を設定している場合) A判定のものとはC判定のものが両方ある場合
C: 目標とした成果を達成できなかった [年度末に判定]

【特記事項】

① 新規開発の推進

- 1) **築川発電所の建設**については、建屋工事及び水車発電機等据付工事が完成し、6月に有水試験を実施し、河川法完成検査(6/25)及び電気事業法使用前自主検査(6/28、29)の合格により、7月1日より**営業運転を開始**しました。
また、7月18日に、盛岡広域振興局土木部と合同で**築川ダム・築川発電所竣工式**を開催しました。
- 2) **新規開発に向けた調査**については、既存資料の**再精査**のほか**現地調査**を進めています。また、南本内地点ほか1地点において、流量観測調査を進めています。

② 再開発の推進

- 1) **稲庭高原風力発電所**については、6月までに風車本体の撤去を完了しました。
また、6月に新風車設置のための**基礎杭**を打ち込み、7月からは**基礎本体の工事**に着手するなど、**概ね計画どおりに進捗**しています。
- 2) **胆沢第二・入畑発電所**については、固定価格買取制度の認定に必要な一般送配電事業者への系統連系申込みを行うなど、**概ね計画どおりに進捗**しています。
- 3) **再開発の検討**については、**既設水力発電所の再開発の可能性に関する検討**を進めています。

主な課題と今後の対応

① 新規開発の推進

- 1) **築川発電所の建設**については、営業運転開始後の**適切な維持管理**に努めていきます。
- 2) **新規開発に向けた調査**のため、開発候補地点の**現地調査**や関係機関への**現状調査**を実施します。

② 再開発の推進

- 1) 稲庭高原風力発電所については、**今年度末の運転開始**に向け、受注者間の調整を行いながら現地施工を進めていきます。
- 2) 胆沢第二・入畑発電所については、**今年度内の固定価格買取制度認定**に向けて取り組んでいきます。また、電気設備の更新に係る**詳細設計**を進めていきます。
- 3) 胆沢第二発電所代替放流設備設置工事については、農業用水の供給に支障が生じないよう、**令和5年度**の既設水車発電機等撤去工事の開始までの**完成**を目指します。

令和3年度 経営評価総括表 [上半期]

1 電気事業

(取組の方向性) (3)経営環境の変化に対応した安定経営

経営目標、参考指標の状況

経営目標	目標(%)	実績(%)	達成度
経常収支比率	124	※年度末に評価	

注) 達成度：実績値 / 目標値 × 100 A：100%以上、B：80%以上 100%未満、C：60%以上 80%未満、D：60%未満 [年度末に判定]

【特記事項】

特記事項無し

取組内容の進捗状況

取組内容		進捗	成果	取組内容		進捗	成果
①	ア 適正な売電価格の確保	a	/	②	ア 業務の効率化	a	/
	イ 供給電力量の向上に向けた取組	a	/		イ 経費の平準化	a	/
	ウ 地域新電力との協働・連携	a	/	③	電力の新たな付加価値の検討	a	/

注) 進捗状況 a：取組が完了できる見込み b：取組の完了や目標とした成果の達成に向けて課題がある c：取組完了が困難な見込み

注) 成果状況 A：目標とした成果を達成した B：(複数の取組目標を設定している場合)A判定のものとC判定のものが両方ある場合

C：目標とした成果を達成できなかった [年度末に判定]

【特記事項】

① 適正な収入の確保

- 1) 非 FIT 水力発電所の次期売電契約の締結に向け、電力自給率の向上、安定経営及び地域貢献を基本方針とした公募型プロポーザルを実施し、契約候補者を選定しました。
- 2) 令和7年度の容量市場への参加に向け、電力広域的運営推進機関が行う説明会への参加や情報収集を行い、応札容量の登録に向けた作業を実施しています。
- 3) 大規模災害や新型コロナウイルス感染症感染拡大等により、通常の故障対応が不可能な場合における発電所別故障対応に関する考え方(優先順位)について、特定課題検討グループによる検討を進めています。
- 4) 現在の電力供給契約における東北電力(株)のプロポーザル提案事項である技術交流会を開催し、点検周期の延伸などについて情報交換しました。
- 5) 非 FIT 電源の非化石証書について、電力供給契約に基づき、毎月の電力量認定及び契約先への証書の受け渡しを適切に行いました。

② 経営の効率化

- 1) 技術担当課長会議で「IoT・AI技術の活用」を特定課題に選定し、特定課題検討グループにおいて、岩洞第一発電所等で実施中のIoT機器実証試験の推進や評価検証、昨年度末着手であった予兆診断やAI技術等に関する検討を行っています。
- 2) 年度別事業実施計画(10か年計画)について、令和3年度版を策定し、収支の平準化を図りました。

③ 電力の新たな付加価値の検討

- 1) 国等の動向を注視しながら情報収集に努めています。

主な課題と今後の対応

① 適正な収入の確保

- 1) 非 FIT 水力発電所の次期売電契約について、適正な電力料収入の確保に向け、電力供給契約の締結を行います。
- 2) 電力広域的運営推進機関と容量確保契約の締結に向け、令和7年度の経済的ペナルティのリスク等を適切に検討の上、メインオークションへ応札を行います。
- 3) 仙人発電所1号水車ランナ購入について、令和4年度からの大規模修繕工事に向け、受注者とランナ製作に係る協議打合せ等を行います。

令和3年度 経営評価総括表 [上半期]

- 4) **非FIT電源の非化石証書**について、毎月の電力量認定及び契約先への証書の受け渡しを適切に行います。
- 5) 現在の電力供給契約の相手方に対し、**経営状況や県内供給状況の確認**などを行い、**リスク管理**に努めます。

② 経営の効率化

- 1) **令和4、5年度の年間作業停止計画**について、送配電事業者及びダム管理者など関係機関と協議を行い、2月末までに**計画の調整を完了**させます。
- 2) **業務の効率化**のため、来年度の年度別事業実施計画（10か年計画）及び長期収支見通しの**見直し**について検討します。

③ 電力の新たな付加価値の検討

- 1) **築川発電所及び稲庭高原風力発電所の特定卸供給**について、県内の地域新電力や市場価格等の動向をみながら**再度検討**を進めます。

令和3年度 経営評価総括表 [上半期]

2 工業用水道事業

(取組の方向性) (1)良質な工業用水の安定供給

経営目標、参考指標の状況

経営目標		1/4	2/4	上半期	3/4	4/4	年間	達成度
供給停止件数(件)	計画	0	0	0	0	0	0	
	実績	0	0	0				

参考指標		参考値	1/4	2/4	上半期	3/4	4/4	年平均
[参考]工業用水の濁度(度)		0.6	0.5	0.5	0.5			
[参考]工業用水の水素イオン濃度(pH)		7.00	6.98	7.02	7.01			

注) 達成度: 実績値 / 目標値 × 100 A: 100%以上、B: 80%以上 100%未満、C: 60%以上 80%未満、D: 60%未満

※供給停止件数については、目標値を達成した場合はA、達成しなかった場合はD [年度末に判定]

【特記事項】

特記事項無し

取組内容の進捗状況

取組内容			進捗	成果	取組内容			進捗	成果
①	ア	旧第三工水中部工業用水道加圧脱水管更新	a		②	ア	適切な保守作業の実施	a	
	イ	第二北上中部工業用水道配水管更新	a			イ	適切な水質管理の実施	a	
	ウ	第二北上中部工業用水道天日乾燥床増設	a			ウ	トラブル発生時の対応	a	
	エ	金ヶ崎ろ過施設(第二期)高圧受電設備等更新	a		③	新技術導入の検討	a		

注) 進捗状況 a: 取組が完了できる見込み b: 取組の完了や目標とした成果の達成に向けて課題がある c: 取組完了が困難な見込み

注) 成果状況 A: 目標とした成果を達成した B: (複数の取組目標を設定している場合)A判定のものとC判定のものが両方ある場合

C: 目標とした成果を達成できなかった [年度末に判定]

【特記事項】

① 施設の強靱化及び大規模災害への備え

令和3年度に計画している工事等について、概ね計画どおり進捗しています。

[第二浄水場]

- ・配水管布設(1-2工区)工事 ⇒ 8/18 契約
- ・天日乾燥床増設(土木)工事 ⇒ 8/11 契約

[第三浄水場]

- ・加圧脱水管更新工事 ⇒ 施工中(工期: R2~R3)

[北上ろ過]

- ・導水管本復旧工事 ⇒ 工事発注準備

[金ヶ崎ろ過]

- ・第二期高圧受電盤設備等更新工事 ⇒ 工事発注準備

② 適切な保守管理の実施

1) 維持管理要領に基づき計画的な点検及び委託業務を実施しています。

沈殿池ほか清掃・定期点検 ⇒ 9/15 第二浄水場終了、9/8 第三浄水場終了

2) 令和2年度に発生した老朽化等に伴う漏水事故の本復旧工事に向けて工事発注準備を進めています。

③ 新技術の導入

1) 空中ドローンを活用した建設工事現場の工事写真撮影などを実施し、操作研修(局内)に参加しました。

主な課題と今後の対応

① 施設の強靱化及び大規模災害への備え

1) 各工事・委託が計画どおりに完了するよう、適切な**工程管理**に努めていきます。

② 適切な保守管理の実施

1) 今年度の改修工事等の実績を踏まえ、必要に応じて**維持管理要領の見直し**を行います。

③ 新技術の導入

1) **空中ドローンの活用**の可能性について検討を行うとともに、**新技術の導入**や**今後の動向**について**情報収集等**を行います。

2 工業用水道事業

(取組の方向性) (2)新たな水需要への対応

経営目標、参考指標の状況

設定なし

取組内容の進捗状況

取組内容	進捗	成果
水需要に応じた施設の整備	a	

注) 進捗状況 a: 取組が完了できる見込み b: 取組の完了や目標とした成果の達成に向けて課題がある c: 取組完了が困難な見込み
 注) 成果状況 A: 目標とした成果を達成した B: (複数の取組目標を設定している場合) A判定のものとC判定のものが両方ある場合
 C: 目標とした成果を達成できなかった [年度末に判定]

【特記事項】

水需要に応じた施設の整備について、浄水場建設事業及び取水口建設事業は概ね計画どおり進捗しています。

[浄水場建設事業] > 令和2年3月27日に契約締結済 (工期: R1~R4)

- ・土木(第一期)工事 ⇒ 現地施工中
- ・建築工事 ⇒ 現地施工中
- ・建築工事監理業務委託 ⇒ 業務執行中
- ・機械設備(第一期)工事 ⇒ 機器製作中、一部配管据付
- ・電気設備(第一期)工事 ⇒ 機器製作中

[取水口建設事業] > 順次工事等発注 (工期: R2~R4)

- ・取水口建設土木工事 ⇒ 現地施工中
- ・取水ポンプ棟建築工事 ⇒ R3.8.24 契約済、詳細工程検討中
- ・建築工事監理業務委託 ⇒ R3.9.21 契約済、受注者契約図書¹の精査中
- ・取水口建設機械設備工事 ⇒ R3.4.12 契約済、機器製作中
- ・取水口建設電気設備工事 ⇒ R3.3.30 契約済、機器製作中

[配水管布設] > 順次工事等発注 (工期: R2~R4) > 市道整備や北上工業団地内の用地整備等への対応

《新浄水場分》

- ・配水管布設工事(第2工区) ⇒ 現地施工中(工期: R2~R3)
- ・配水管布設工事(第1工区) ⇒ 工事発注準備(工期: R3~R4)

《既設浄水場配水管分》

- ・[第一浄水場] 配水管布設工事 ⇒ R3.9.27 契約済
 ※令和4年4月1日給水開始予定の新規ユーザー向け配水管布設
- ・[第三浄水場ほか] 配水管盛替工事 ⇒ 取り止め(R4以降公告予定)

主な課題と今後の対応

- 1) 建設工事については、令和5年4月からの一部給水開始に向けて、新浄水場や取水口、配水管の各施工業者との間で全体工程を随時調整するなど、工事全体の工程及び予算の管理を徹底し、施設・設備等の整備に影響が生じないよう努めていきます。
- 2) 配水管布設工事については、施工個所の交通規制により車両の往来に影響があることから、周辺企業の理解と協力が得られるよう調整し、整備に影響が生じないよう工事を進めていきます。

令和3年度 経営評価総括表 [上半期]

2 工業用水道事業
(取組の方向性) (3) 安定的な事業運営

経営目標、参考指標の状況

経営目標	目標(%)	実績(%)	達成度
経常収支比率	107	※年度末に評価	

注) 達成度: 実績値 / 目標値 × 100 A: 100%以上、B: 80%以上 100%未満、C: 60%以上 80%未満、D: 60%未満 [年度末に判定]

【特記事項】

特記事項無し

取組内容の進捗状況

取組内容		進捗	成果	取組内容		進捗	成果
①	ア 業務の効率化	a	△	②	ア 契約水量の維持・増量に向けた取組	a	△
	イ 経費の平準化	a	△		イ 改良費に対する補助金や公営企業債の要望	a	△
	ウ 効率的な経営のあり方についての検討	a	△				

注) 進捗状況 a: 取組が完了できる見込み b: 取組の完了や目標とした成果の達成に向けて課題がある c: 取組完了が困難な見込み

注) 成果状況 A: 目標とした成果を達成した B: (複数の取組目標を設定している場合) A判定のものとはC判定のものが両方ある場合

C: 目標とした成果を達成できなかった [年度末に判定]

【特記事項】

① 経営の効率化

- 1) 業務の効率化について、同一箇所・同種の工事等を合冊発注し、**経費節減**に努めています。
- 2) 経費の平準化について、**年度別事業実施計画**を見直し、**工事・委託等の費用の平準化**を図りました。
- 3) 効率的な経営の在り方の検討については、**金ヶ崎ろ過施設のダウンサイジングによる経費の縮減**に向けて、金ヶ崎ろ過施設(第二期)電気設備の更新工事等を予定しており、令和3・4年度の工事実施に向けた**工事発注準備**を進めています。

② 適切な収入の確保

- 1) **契約水量の維持・増量**に向けた取組として、4月に**ユーザー訪問**を実施し、使用水量の動向などについて**情報交換**を行いました。新型コロナウイルス感染症感染拡大の影響により、半数程度のユーザーのみの訪問となったことから、次回予定している決算概要説明については、**ウェブの活用**も検討しています。
- 2) **全ユーザー企業を対象に需要量調査**を行い、今後の需要量の把握を行いました。
- 3) **改良費に対する補助金や公営企業債の要望**として、6月17日に**政府予算要望**を行いました。
- 4) **国土強靱化**のため、国庫補助金等を活用し、脱水機の増強等を行い、**効率的な経営**に努めています。

主な課題と今後の対応

① 経営の効率化

- 1) 令和3年4月に**事業統合**し、改良・修繕・委託に関する長期的な計画にあたり、事業全体で平準化や集中化による弾力的な運用が可能となることから、**効率的な工事発注**や**施設改修等**が図られるよう努めていきます。
- 2) 令和5年度から予定している**金ヶ崎ろ過施設のダウンサイジング**等により、**経費削減**に努めていきます。

② 適切な収入の確保

- 1) **新型コロナウイルス感染症**の影響など、**ユーザー企業の実使用水量の動向**に注視していきます。
- 2) **改良費に対する補助金や公営企業債**に関する国の動向等に注視しながら、**適時適切に国への要望等**を行います。

・実使用水量、料金収入、収入、支出の状況については補足説明資料のとおり

令和3年度 経営評価総括表 [上半期]

3 組織力向上と地域貢献
(取組の方向性) (1)組織力向上

経営目標、参考指標の状況

経営目標		1/4	2/4	3/4	4/4	年間	達成度
第二種電気主任技術者 新規資格取得者数(人) (※計画期間(R2~R5)累計)	計画	3				3	
	実績	4	<u>4</u>				
第一種ダム水路主任技術者 新規資格取得者数(人) (※計画期間(R2~R5)累計)	計画	1				1	
	実績	0	<u>0</u>				

参考指標	参考値	1/4	2/4	上半期	3/4	4/4	年間
[参考]第一・二種電気主任技術者有資格者数(人)	6	7	<u>7</u>	<u>7</u>			
[参考]第一種ダム水路主任技術者有資格者数(人)	6	6	<u>6</u>	<u>6</u>			
[参考]専門研修受講者数(人)	412	111	<u>127</u>	<u>238</u>			
[参考]職員満足度調査における満足度(%)	79						
[参考]企業局施設見学者数(人)	1,574	<u>33</u>	<u>29</u>	<u>62</u>			

注) 達成度: 実績値 / 目標値 × 100 A: 100%以上、B: 80%以上 100%未満、C: 60%以上 80%未満、D: 60%未満 [年度末に判定]

【特記事項】

- 1) 第二種電気主任技術者の新規資格取得者数については、実務経験により**1名が資格を取得**しました。
- 2) 第一種ダム水路主任技術者の資格取得に向けて、県土整備部の**ダム点検に同行**し経験を積む取組みをしています。

取組内容の進捗状況

取組内容		進捗	成果	取組内容		進捗	成果
①	ア 職員採用・人事交流と組織体制の整備	a		③	ア ワーク・ライフ・バランスの確保	a	
	イ 有資格者の計画的な確保	a			イ 職場の働きやすさ向上	a	
	ウ 人材育成・技術継承	a			ウ 安全衛生対策の充実	a	
	エ 経営力の強化	a		④	ア 広報活動	a	
②	ア 災害への対応体制の確立	a			イ 企業局施設の見学者の受入れ、施設見学会の開催	b	
	イ リスクマネジメント	a					

注) 進捗状況 a: 取組が完了できる見込み b: 取組の完了や目標とした成果の達成に向けて課題がある c: 取組完了が困難な見込み

注) 成果状況 A: 目標とした成果を達成した B: (複数の取組目標を設定している場合) A判定のものとC判定のものが両方ある場合

C: 目標とした成果を達成できなかった [年度末に判定]

【特記事項】

① 人材の確保・育成

- 1) 研修検討会議において決定した今年度の**専門研修実施計画**に沿って、研修を実施しています。
- 2) 企業局のPR及びリクルート活動の一環として、県内の学校に企業局職員を**講師として派遣し、業務説明**(5/25)を行いました。
- 3) 高校生及び大学生等を対象とした**インターンシップ**、大学生より見学希望のあった**発電所見学会**を計画しましたが、新型コロナウイルス感染症感染拡大防止の観点からいずれも中止しました。

② 危機管理対策、リスクマネジメント

- 1) 新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため、**岩手県企業局新型インフルエンザ等対策業務継続計画**を改訂しました。

③ 職場環境の充実

1) 新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため、感染が拡大している地域等への出張の取りやめ、手洗いや咳エチケットの励行などの基本的な感染防止対策を継続しています。

また、令和3年8月12日付けで発出された岩手緊急事態宣言を踏まえ、岩手県企業局新型インフルエンザ等対策業務継続計画における各所属の業務優先区分を勘案し、在宅や分散勤務、時差出勤の活用及び週休日の割振変更により人との接触機会を低減し、新型コロナウイルス感染症感染拡大防止に取り組みました。

④ 企業局事業の理解促進

1) 企業局施設カードの配布と施設見学者の受入れについて、これまで同様に感染拡大防止対策を徹底した上で、令和2年12月1日より休止していた企業局施設カードの配布を令和3年10月1日から一部再開しました。なお、一般的な施設見学者の受入れについては原則休止を継続します。

2) 企業局施設見学会については、新型コロナウイルス感染症感染拡大防止の観点から、今年度は開催を見合わせることとしました。

3) 今年度はウェブ開催となったいわて気候変動チャレンジフェスタ2021に参加し、バーチャル出展しました。

主な課題と今後の対応

① 人材の確保・育成

1) 第二種電気主任技術者や第一種ダム水路主任技術者の資格取得に向けて、局内の支援・奨励による取得者数の更なる確保・育成を目指します。

2) リクルート活動などの取組により採用計画に基づく新採用職員の確保に努めていきます。また、土木職については、県土整備部との緊密な連携により、必要な人員の確保に努めていきます。

② 危機管理対策、リスクマネジメントの取組

1) リスクマネジメントにおいては、新型コロナウイルス感染症への対応も含めて、取組を進めていきます。

2) 災害応急対策マニュアルについては、今後も必要に応じ見直しを行います。

③ 職場環境の充実

1) ワーク・ライフ・バランスの確保、職場の働きやすさ向上については、昨年度実施した職員満足度実施結果等をもとに、局内に設置した働き方改革検討推進会議及び推進チームにより、働き方改革に係る具体的な取組の実施方法について検討するとともに、今年度実施した「働きやすい職場環境づくりに係るアンケート」の結果を踏まえ、今後の取組を検討していきます。

2) 新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため、基本的な感染対策の徹底に努めます。

④ 企業局事業の理解促進

1) 施設見学者の受入れについて、受入れ再開を取組目標に掲げておりましたが、学校等の見学を除き、原則休止を継続します。

また、新型コロナウイルス感染症の状況を注視し、再開時期を検討します。

2) これまで同様に感染拡大防止対策を徹底した上で、可能な範囲で地域における環境学習機会の提供や企業局の理解促進を図るための代替策等について検討します。

令和3年度 経営評価総括表 [上半期]

3 組織力向上と地域貢献
(取組の方向性) (2)地域貢献

経営目標、参考指標の状況

経営目標	目標(t 以上/年)	実績(t 以上/年)	達成度
地域貢献による温室効果ガス削減量	120 以上	※年度末に評価	

参考指標	参考値	1/4	2/4	上半期	3/4	4/4	年間
[参考]クリーンエネルギー導入支援事業の支援金額(千円)	23,000	0	257	257			
[参考]クリーンエネルギー導入支援事業の支援件数(件/年)	9	0	1	1			
[参考]植樹活動支援事業の支援金額(千円)	2,300	1,001	379	1,380			
[参考]植樹活動支援事業の支援件数(件/年)	13	6	4	10			

注) 達成度: 実績値 / 目標値 × 100 A: 100%以上、B: 80%以上 100%未満、C: 60%以上 80%未満、D: 60%未満 [年度末に判定]

【特記事項】

特記事項なし

取組内容の進捗状況

取組内容	進捗	成果	取組内容	進捗	成果
① ア 小売電気事業者と連携した取組 イ 一般会計への繰出し	a		② ア クリーンエネルギー導入促進事業(市町村等向け補助事業) イ 環境保全・クリーンエネルギー導入促進事業向けの一般会計への繰出し ウ 市町村等が行う植樹活動への支援	a	
	a			a	
			③ 水素利活用への取組	a	

注) 進捗状況 a: 取組が完了できる見込み b: 取組の完了や目標とした成果の達成に向けて課題がある c: 取組完了が困難な見込み

注) 成果状況 A: 目標とした成果を達成した B: (複数の取組目標を設定している場合) A判定のものとC判定のものが両方ある場合

C: 目標とした成果を達成できなかった

【特記事項】

① 電力供給を通じた地域貢献

- 平成30年度から、東北電力株式会社と連携して取り組んでいるいわて復興パワーによる電気料金の割引については、9月末時点で延べ適合事業者数は778件となりました。
- また、令和2年4月1日より、久慈地域エネルギー株式会社と連携し、滝発電所で発電したCO₂フリーの電力を供給する「アマリングリーンでんき」の取組を実施し、9月末時点で契約者数は27件となっています。
- さらに、令和2年6月1日より、東北電力株式会社と連携し、企業局の水力発電所で発電したCO₂フリーの電力を県内企業等に供給する「いわて復興パワー水力プレミアム」の取組を実施し、9月末時点で契約者数は3件となっています。

② 地球温暖化防止に向けた取組

- クリーンエネルギー導入支援事業では、市町村等が行うLED等の設置事業に対して、9件(うち震災復興関連事業は2件)の交付決定を行っています。
- 植樹活動支援事業では、15件の内示を行い、9月末時点で10件の事業を支援しました。うち1件については企業局職員も参加して植樹活動を行いました。

③ 水素利活用推進プロジェクト

- 「環境保全・クリーンエネルギー導入促進積立金」を活用し、令和3年度「水素利活用による再生可能エネルギー推進事業」への一般会計繰出しによる財政支援を実施しています。

主な課題と今後の対応

① 電力供給を通じた地域貢献

1) いわて復興パワーによる電気料金の割引については、次期売電契約候補者と協議・調整を行い、次年度以降の方針について検討します。

② 地球温暖化防止に向けた取組

1) 植樹活動支援事業については、温室効果ガスの削減目標の達成に向けて、新型コロナウイルス感染症感染拡大防止への対策状況を見ながら、支援の拡充等を検討します。

③ 水素利活用推進プロジェクト

1) 「環境保全・クリーンエネルギー導入促進積立金」を活用し、環境生活部が行う再生可能エネルギー由来の水素を利活用する取組について、引き続き、検討会議への参加や財政支援などに取り組みます。

【補足説明資料】

1 電気事業

① 供給電力量電源別内訳(百万 kWh)

		1/4	2/4	上半期	3/4	4/4	年間
水力	計画	205	106	311	58	115	484
	実績	222	109	332			
	達成率	108%	103%	107%			
風力	計画	13	8	21	14	15	50
	実績	12	10	22			
	達成率	93%	118%	103%			
太陽光	計画	0.47	0.41	0.88	0.24	0.19	1.31
	実績	0.55	0.47	1.02			
	達成率	116%	116%	116%			
合計	計画	219	115	333	72	130	536
	実績	235	120	355			
	達成率	108%	104%	106%			

各項目の数値は、単位未満を四捨五入しているため、表中の数字で計算した場合、合計や達成率が一致しない場合があります。

② 気象データ(%)

	1/4	2/4	上半期	3/4	4/4	年間
出水率	90	67	81			
降水量平年比	113	85	96			
平均風速平年比	94	116	103			
日射量平年比	102	99	100			

③ 供給停止*件数の過去平均と原因別比較(件)

	H22-H30 平均	R2	R3	R4	R5
人的ミス等	1	1	2		
設備不良等	2	4	1		
合計	3	5	3		

*供給停止：人的ミスや設備不良など、企業局の責による理由で、計画した電力の供給ができないこと

④ 発電所建屋等の耐震化工事(箇所)

	R1 まで	R2	R3	R4	R5
計画	—	2	2		
実績	16	2	0		
達成率	80%	90%	90%		

⑤ 電力土木施設の耐震診断(箇所)

	R1 まで	R2	R3	R4	R5
計画	—	2	5	3	2
実績	25	2	0		
達成率	68%	73%	73%		

令和3年度 経営評価総括表 [上半期]

⑥ 電力料収入(百万円、税抜)

		1/4	2/4	上半期	3/4	4/4	年間
水力	予算	1,486	1,402	2,888	1,292	1,334	5,514
	実績	1,520	1,332	2,852			
	達成率	102%	95%	99%			
風力	予算	315	187	502	326	337	1,165
	実績	263	221	484			
	達成率	84%	118%	97%			
太陽光	予算	17	15	32	10	10	53
	実績	20	17	37			
	達成率	113%	115%	114%			
合計	予算	1,818	1,604	3,422	1,628	1,681	6,731
	実績	1,803	1,570	3,373			
	達成率	99%	98%	99%			

各項目の数値は、単位未満を四捨五入しているため、表中の数字で計算した場合、合計や達成率が一致しない場合があります。

⑦ 収入・支出の状況(百万円、税抜)

	予算額	決算額
経常収益	7,040	
経常費用	5,912	
経常利益	1,128	

(経常収益=電気事業収益-特別利益)

(経常費用=電気事業費用-特別損失-予備費)

(経常利益=経常収益-経常費用)

2 工業用水道事業

① 実使用水量(千m³、%)

	1/4	2/4	上半期	3/4	4/4	年間
計画	2,038	2,061	4,099	2,056	2,140	8,295
実績	2,000	2,292	4,292			
達成率	98%	111%	104%			

② 料金収入(百万円、税抜)

		1/4	2/4	上半期	3/4	4/4	年間
一般給水	予算	145	147	292	147	148	587
	実績	146	150	296			
	達成率	100%	102%	101%			
ろ過給水	予算	53	54	107	54	52	213
	実績	53	54	107			
	達成率	100%	100%	100%			
合計	予算	198	201	399	201	200	800
	実績	199	204	403			
	達成率	100%	101%	101%			

③ 収入・支出の状況(百万円、税抜)

	予算額	決算額
経常収益	846	
経常費用	842	
経常利益	4	

(経常収益=工業用水道事業収益-特別利益)

(経常費用=工業用水道事業費用-特別損失-予備費)

(経常利益=経常収益-経常費用)

参考資料1

分類	取組内容	今年度の取組目標・成果	取組番号	担当課
1	電気事業			
	(1)「運転年数100年」を実現するための基盤づくり			
	① 施設の強靱化及び大規模災害への備え			
	ア 年度別事業実施計画に基づく修繕・改良の実施	【仙人】天井クレーン分解点検補修及び改良工事の完成 【仙人】水車発電機分解点検補修等工事(R3~R5)の契約締結 【北ノ又】33kVほかキュービクル更新工事(R3~R5)の契約締結 【北ノ又】配電盤更新工事(R3~R5)の契約締結 【北二】33kV連絡線更新工事(R3~R5)の契約締結 【松川】水車発電機分解点検補修等工事(R3~R4)の契約締結 【総管】大物倉庫他建替工事(R3~R4)の実施(建築基準法手続き、工事契約締結、現地工事着手) 【県南】増築等工事の完成	1	電気 県南 電気 総管 土木 総管 土木 県南
	イ 電力土木施設等の長寿命化対策	【岩一】劣化度調査の完了 【岩二】劣化度調査の完了 【御所】劣化度調査の完了 【柏台】劣化度調査の完了 ・土木担当職員の技術向上を目的とした研修会の開催 ・長寿命化を目的とした電力土木施設の点検周期の見直し	2	土木 総管 土木
	ウ-1 耐震化計画の推進(発電所建屋等の耐震化工事)	【御所】耐震化工事の完成 【仙人】耐震化工事の契約締結、仮設足場の設置	3	土木 総管 土木 県南
	ウ-2 耐震化計画の推進(電力土木施設の耐震診断)	・4施設(岩洞第一水圧鉄管、大川水路橋、軽松沢鉄管橋、軽松沢川排砂門ピア)の耐震診断の完了	4	土木 総管
	② 適切な保守管理の実施			
	ア 適切な保守作業の実施	・電気主任技術者による保安指導の実施(保安パトロール等) ・高森高原風力発電所環境モニタリング事後調査業務委託の完了 ・本年度実施予定の工事等に係る河川法手続きの申請許可 ・保安規程等に基づく計画的な保守作業の実施(点検手入れ計画表の点検項目を全て実施)	5	電気 土木 総管 県南
	イ 風水害への備え	・自然災害の危険箇所調査の実施(全施設) ・台風災害を想定した訓練等の実施	6	土木 総管
	ウ マニュアル等の見直し	・施設更新等に伴う保守要則の改定	7	電気
	③ 新技術の活用			
	ア 新技術の導入	・岩洞第一、四十四田、柏台発電所でのIoT機器実証試験による新技術導入に係る調査・検討 ・他事業者における導入事例の調査	8	電気 総管 土木
	イ 発電所遠方監視制御装置のIP化	・施設総合管理所集中監視制御システム改修工事(築川発電所新設)の完成	9	電気 総管
	④ 農業用水の安定供給、共同事業者との連携			
	ア 農業用水の安定供給に向けた機能維持	・岩洞ダム共有施設の改良工事(国営岩手山麓農業水利事業)の推進、事業費の適切な管理 ・胆沢第二発電所共有施設の改修に係る調査設計の完了 ・農業用水の安定供給(長期供給支障が無いこと) ・若柳堰堤ゲート自動制御装置更新工事の契約締結、操作卓完成	10	土木 総管 土木 総管 県南
	イ 河川管理者等との連携	・北上川上流ダム再生事業に伴う発電所への影響確認	11	土木
	ウ 発電所共同運転事業者との連携	・仙人発電所の構内受電系統の見直しに向けた共同運転事業者と協議・調整 ・和賀川河川環境保全事業の実施 ・電源開発(株)、東北自然エネルギー(株)との共有施設の点検及び工事に関する調整	12	電気 県南 土木 県南

令和3年度 取組内容一覧表

分類	取組内容	今年度の取組目標・成果	取組番号	担当課
(2) 再生可能エネルギーの維持拡大				
① 新規開発の推進				
ア 築川発電所の建設		・築川発電所 水車発電機等製作据付工事の完成、運転開始	13	電気 土木 総管
		・FIT売電契約の締結		電気 総管
		・使用前安全管理審査ほか保安手続の完了		
イ 新規開発に向けた調査等		・槻木平地点（真湯測水所）撤去工事の完成 ・新規開発地点の現地状況の確認	14	土木
② 再開発の推進				
ア 胆沢第二発電所		・代替放流設備設置工事の契約締結、現地工事着手 ・水車発電機基礎構築設計業務の完了 ・発電所建屋改修設計業務の完了 ・系統連系に係る接続合意（連系契約の成立） ・固定価格買取制度（FIT）の事業計画認定	15	再開発
イ 入畑発電所		・水車発電機基礎構築設計業務の完了 ・系統連系に係る接続合意（連系契約の成立） ・固定価格買取制度（FIT）の事業計画認定	16	再開発
ウ 稲庭高原風力発電所		・FIT売電契約の締結	17	電気
		・新風車に係る機器据付、試験調整の完了、営業運転の開始 ・既設風車及び基礎に係る撤去の完了		再開発 総管
		・電気事業法に基づく工事計画届出事務の完了		再開発
エ 再開発の検討		・既設発電所の再開発検討業務の完了	18	電気 土木
(3) 経営環境の変化に対応した安定経営				
① 適正な収入の確保				
ア 適正な売電価格の確保		・非FIT水力発電所の次期売電契約の締結 ・令和7年度容量確保契約の締結	19	電気
イ-1 供給電力量の向上に向けた取組（点検周期等見直し）		・複数発電所の故障発生時における対応優先順位の検討（具体的な課題の抽出）	20	電気
イ-2 供給電力量の向上に向けた取組（高効率機器の導		・仙人発電所 1号ランナ新製工事の契約締結	21	県南
ウ 地域新電力との協働・連携		・現売電契約による協働・連携の実施 （経営状況、県内供給状況、プロポーザル提案事項の確認）	22	電気
		・次期売電契約の公募条件の決定 （地域新電力等との協働・連携に係る提案評価）		電気 企画
② 経営の効率化				
ア 業務の効率化		・技術担当課長会議、保守担当者会議等の実施による技術的課題の解決や情報共有 ・年間作業停止計画の策定 （関係機関との調整による発電所の効率的な運用）	23	電気 土木 総管
		イ 経費の平準化		
③ 電力の新たな付加価値の検討				
ア 電力の新たな付加価値に関する情報収集等		・情報収集、調査等の実施・共有 （他県等の状況把握など）	25	電気 企画

令和3年度 取組内容一覧表

分類	取組内容	今年度の取組目標・成果	取組番号	担当課
2	工業用水道事業			
	(1) 良質な工業用水の安定供給			
	① 施設の強靱化及び大規模災害への備え			
	ア 第三浄水場加圧脱水機更新	・ [機械設備] 脱水機製作・据付、補機類据付工事の完成	26	事業 県南
		・ [電気設備] 制御操作盤・CC盤等製作据付工事の完成		事業 県南
	イ 第二浄水場配水管布設（1-2工区）工事	・ 金ヶ崎工業団地内配水管更新工事の完成	27	県南
	ウ 第二浄水場天日乾燥床増設（土木）工事 ※ 建築物はR4年度に整備予定	・ 造成及び基礎杭工事の完成 ・ 農業用水路付替工事の完成	28	事業 県南
	エ 金ヶ崎ろ過施設（第二期）高圧受電設備等更新	・ 高圧受電盤・二回線受電切替盤ほか機器製作	29	県南
	オ 第一浄水場・第三浄水場配水管布設	・ 第一浄水場配水管布設工事の完成	29-1	事業 県南
		・ 第三浄水場配水管盛替え工事の完成		県南
	カ 北上ろ過施設導水管本復旧工事	・ 工事の完成	29-2	県南
	② 適切な保守管理の実施			
	ア 適切な保守作業の実施	・ 工業用水道施設維持管理要領の改定	30	事業
		・ 工業用水道施設維持管理要領に基づく各施設の計画的な点検及び作業等の実施（点検項目を全て実施）		県南
	イ 適切な水質管理の実施	・ 工業用水道施設維持管理要領に基づく各施設の計画的な水質計器等の保守管理の実施（点検項目を全て実施） ・ 水質異常に対する訓練等の実施	31	県南
	ウ トラブル発生時の対応	・ トラブル対応訓練の実施	32	県南
	③ 新技術の活用			
	ア 新技術導入の検討	・ 先進事例等の情報収集・共有	33	県南
	(2) 新たな水需要への対応			
	水需要に応じた施設の整備			
	施設・設備の整備	・ 新北上浄水場及び取水口建設工事の進捗管理 ・ 配水管布設工事の施工に関するユーザー及び周辺企業との調整	34	事業 県南
	(3) 安定的な事業運営			
	① 経営の効率化			
	ア 業務の効率化	・ 複数施設の委託業務の合冊発注等による業務の効率化の実施	35	県南
	イ 経費の平準化	・ 長期的な収支を考慮した年度別事業実施計画の改定	36	事業 県南
	ウ 効率的な経営のあり方についての検討	・ 水需要の見直しに応じた施設規模の最適化（ダウンサイジング）の検討	37	事業 県南
	② 適切な収入の確保			
	ア 契約水量の維持・増量に向けた取組	・ ユーザー企業への訪問	38	事業
		・ 新規契約・増量企業等の給水手続きの迅速な対応		県南
	イ 改良費に対する補助金や公営企業債の要望	・ 国庫補助金や公営企業債枠の拡大を国へ要望	39	事業
		・ 企業債の借入等		予経

令和3年度 取組内容一覧表

分類	取組内容	今年度の取組目標・成果	取組番号	担当課
3	組織力向上と地域貢献			
	(1) 組織力向上			
	① 人材の確保・育成			
	ア 職員採用・人事交流と組織体制の整備	・インターンシップや業務説明等の実施、知事部局等との人事交流により必要な人材を確保 ・令和4年度の業務運営に最適な組織体制を確保	40	管理
	イ 有資格者の計画的な確保・育成	・資格取得の支援・奨励により資格取得者の確保・養成 ・知事部局等との人事交流を継続し人材を確保 ・電験試験等の情報掲載により資格取得を支援	41	管理 総管
	ウ 人材育成・技術継承	・専門研修実施計画に基づく職場内研修やOJTの実施 ・外部研修受講の奨励	42	管理
	エ 経営力の強化	・経営に関する研修、マネジメント支援プログラムの実施	43	管理
	② 危機管理対策、リスクマネジメントの取組			
	ア 災害への対応体制の確立	・災害応急対応訓練の実施 ・集中監視制御システム監視卓増設工事の完成 (新型コロナウイルス感染症の感染防止対応)	44	管理 総管
	イ リスクマネジメント	・重要なリスクや対応状況などを経営計画推進会議に報告し、局内で情報共有	45	企画
	③ 職場環境の充実			
	ア ワークライフバランスの確保	・働き方改革に係る取組の実施（テレワーク環境の整備、ICT等による業務効率化、職員の意識啓発等） ・局長等と職員との意見交換会の実施（年7回） ・職員満足度調査の実施	46	管理
	イ 職場の働きやすさ向上	(46と同じ) ・施設総合管理所建屋改修計画の方針決定 ・発電所等への女性用トイレの整備（御所、北ノ又、柏台） ・【総管】大物倉庫他建替工事（R3～R4）の実施（1の再掲） (建築基準法手続き、工事契約締結、現地工事着手)	47	管理 土木 総管
	ウ 安全衛生対策の充実	・夏季、冬季安全パトロールの実施 ・労働災害無事故の継続 ・新型コロナ感染症感染防止対策の実施	48	管理
	④ 企業局事業の理解促進			
	ア 広報活動（PRグッズ配布、『みずりん・みどりん』によるPR）	・『みずりん・みどりんお知らせ隊』によるイベントへの参加及びPRグッズの作成・配布などを通じた積極的な情報発信の実施	49	企画
	イ 企業局施設での見学者の受入れ、施設見学会の開催	・新型コロナウイルス感染症への感染状況を考慮し、施設見学会の実施可否を判断（実施する際は実施方法の検討） ・随時の見学者受入れの実施	50	企画 企画 総管 県南
	(2) 地域貢献			
	① 電力供給を通じた地域貢献			
	ア 小売電気事業者と連携した取組	・いわて復興パワー（電気料金割引）の対象拡大の検討 ・小売電気事業者及び関係部局と連携したPRの実施 ・小売電気事業者と連携したCO2フリーの電力の県内企業等への供給	51	企画
	イ 一般会計への繰出し	・震災復興及びふるさと振興に寄与に向けた、一般会計への繰出しによる施策の財政的な支援の実施	52	企画
	② 地球温暖化防止に向けた取組			
	ア クリーンエネルギー導入促進事業（市町村向け補助事業）	・県内のクリーンエネルギーの導入促進及び普及啓発に向けた市町村等に対する補助金の交付(9件)	53	企画
	イ 環境保全・クリーンエネルギー導入促進事業向けの一般会計への繰出し	・県内の環境保全やクリーンエネルギーの導入促進に向けた一般会計への繰出しによる策の財政的な支援の実施	54	企画
	ウ 市町村等が行う植樹活動への支援	・水源涵養の促進及び環境保全活動を実施する市町村等に対する苗木の提供や職員参加による支援の実施(13か所)	55	企画
	③ 水素利活用推進プロジェクト			
	ア 水素利活用への取組	・県の水素利活用に関する検討会議への参加及び取組の方向性や今後の動向に関する情報収集の実施	56	企画